

### 河川環境に関する事項

- 平田船川と湯谷川では定期的に水質観測が実施されており、河川水質の代表指標の一つであるBOD（生物化学的酸素要求量）については、概ね環境基準（2mg/ℓ以下）を達成しています。
  - 斐伊川や宍道湖との繋がりを通じて、シンジコハゼ、タナゴ類、サンインコガタスジシマドジョウなど、多様な生物が生息しています。一方で、オオクチバスやブルーギルなどの外来種も多く確認されています。
- ◎動植物の生息・生育・繁殖環境の保全、歴史的な景観や文化財の保存、周辺の景観、流域の歴史・文化および背後地の利活用と調和した水辺空間の形成に努め、地域住民が自然にふれあい、水辺に親しめる場、周辺の歴史・文化を学べる場を創出します。
- ◎水質の改善および河川を汚さないよう市民への啓発、そして、地域住民の活動と連携し、美しい河川環境を維持するように努めます。

### 河川利用に関する事項

- 雲洲平田船川沿川の木綿街道では、川並みも含めた昔ながらの景観を保存し、平田まつりなどイベントが開催されています。

### 維持管理に関する事項

- 平成19年には、「雲洲平田船川・平田船川・湯谷川河川愛護団体連絡協議会」が結成され、河川清掃や除草作業などを積極的に行っていただいています。

◎河川巡視や点検の実施により異常の早期発見に努め、適切な維持管理を行います。

### 防災等に関する事項

- ◎洪水による被害を最小限にとどめるため、インターネット等によるリアルタイムの河川水位や雨量の情報を提供するほか、危険箇所や避難場所を示したハザードマップの普及を推進し、日頃から防災意識の向上を図ります。
- ・「しまね防災情報」は、下記のURLにアクセスしていただくか、または、島根県ホームページのトップページより **防災・安全** ページに移動していただき、そこにあるリンクからご覧ください。  
<http://www.bousai-shimane.jp/>
  - ・河川水位や雨量のリアルタイム情報は、下記のURLにアクセスしていただくか、または、島根県ホームページのトップページにある **防災・安全** ページの **島根県水防情報** にあるリンクからご覧ください。  
<http://www.bousai-shimane.jp/uryousui/pc/ssim0101g.html>
  - ・しまね防災メールの登録は、下記のメールアドレス宛または右のQRコードから読み取れるメールアドレス宛に空メールを送信してください。  
[bousai-shimane@xpressmail.jp](mailto:bousai-shimane@xpressmail.jp)
- ◎水防活動との連携、情報伝達体制および警戒避難体制の整備はもとより、自主防災組織の育成強化に向けた協力支援など、地域の皆様と協力して被害軽減対策を行います。

【問い合わせ先】 島根県土木部河川課 企画調査グループ 電話：0852-22-5647  
島根県出雲県土整備事務所  
土木工務部 土木工務第二課 電話：0853-30-5657

## 斐伊川水系宍道湖北西域河川整備計画（変更）の概要

本リーフレットは、同封の「斐伊川水系宍道湖北西域の川づくりに関するアンケート」にお答えいただくため、「斐伊川水系宍道湖北西域河川整備計画（変更）」の概要を示した参考資料です。

■は現状を、◎は計画及び目標に関する事項を示しています。

### 宍道湖北西域の河川の概要

- 宍道湖北西域には、島根県が管理する河川が **15河川** あります。



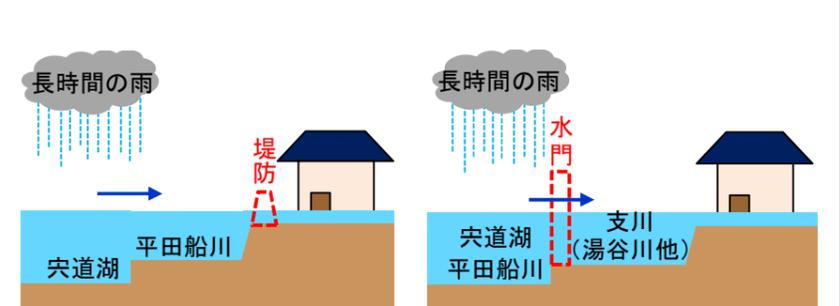
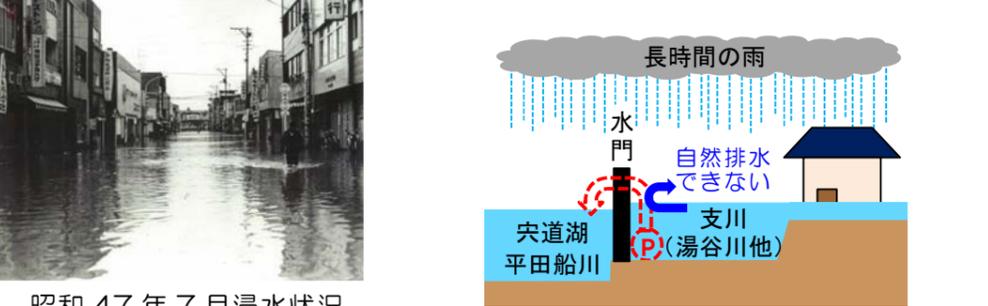
宍道湖北西域の範囲と対象河川位置図

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図 25000 を複製したものです。（承認番号 平 28 情複、第 1286 号）」

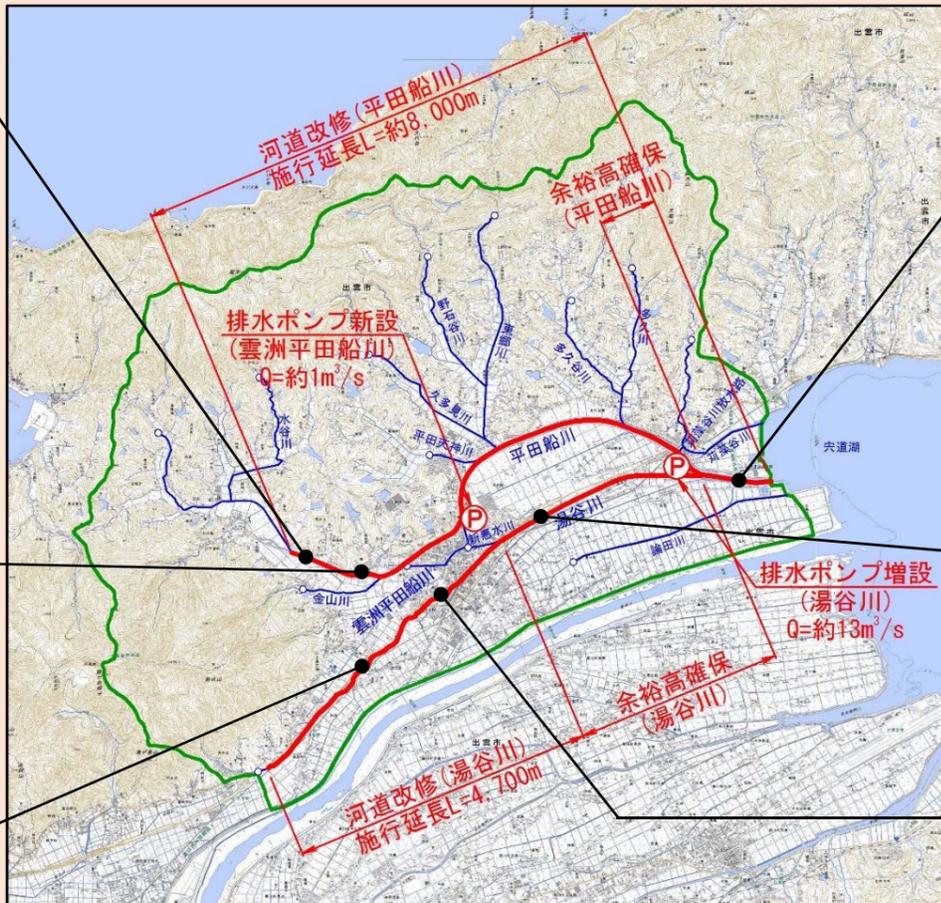
治水対策に関する事項（平田船川水系）

- ◎「平成 9 年 7 月洪水と同規模の洪水」に対して家屋の浸水被害を防ぎます。また、「昭和 47 年 7 月洪水と同規模の洪水」に対して床上浸水被害を防ぎます。
- ◎対象期間は概ね 30 年間とします。
- ◎工事の目的や施行場所および河川工事の種類とイメージ図を以下にお示しします。

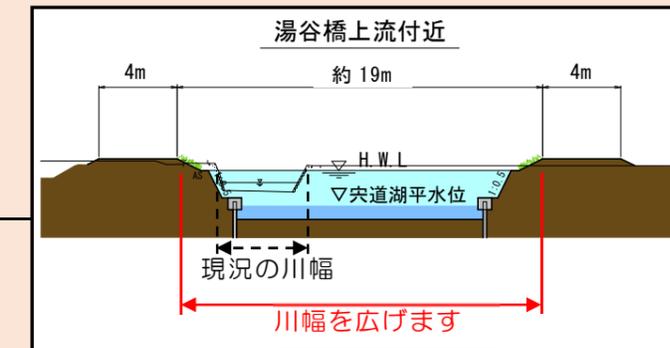
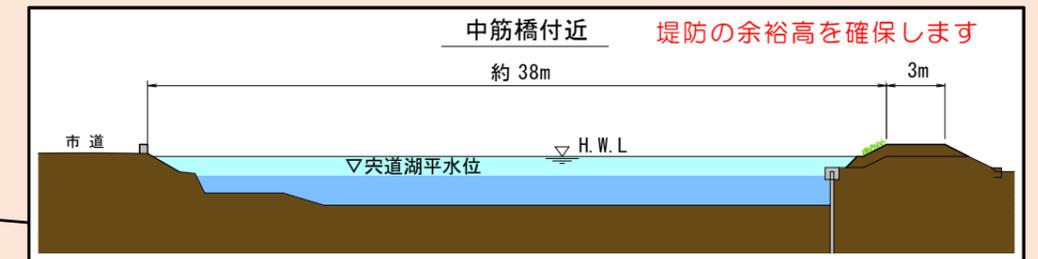
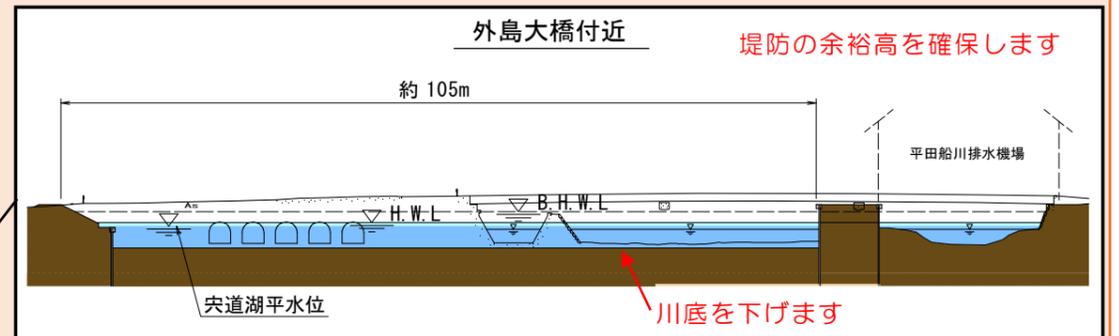
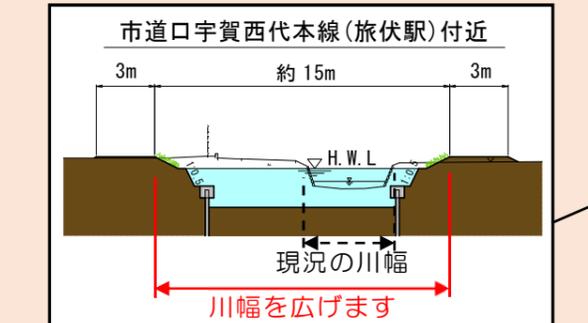
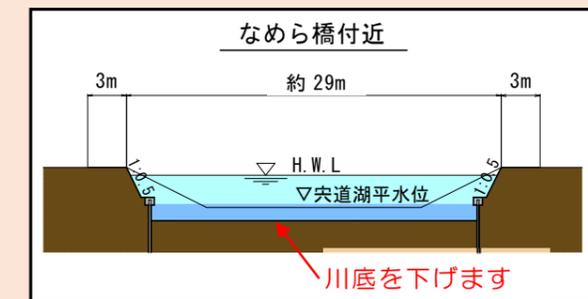
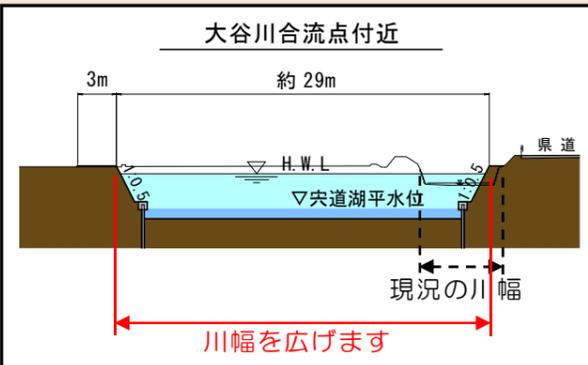
【工事の目的】

自己流氾濫を防ぐ	背水氾濫を防ぐ	内水氾濫を防ぐ
 <p>流域内に局所的な集中豪雨</p> <p>平田船川 湯谷川</p> <p>平成 9 年 7 月浸水状況</p> <p>「平成 9 年 7 月洪水と同規模の洪水」を安全に流すため、拡幅・掘削などの河道改修を引き続き行います。</p>	 <p>長時間の雨</p> <p>堤防</p> <p>水門</p> <p>支川（湯谷川他）</p> <p>これまで、宍道湖の計画高水位に対応した堤防・水門を整備していますが、堤防余裕高の確保を行います。</p>	 <p>長時間の雨</p> <p>水門</p> <p>自然排水できない</p> <p>支川（湯谷川他）</p> <p>昭和 47 年 7 月浸水状況</p> <p>宍道湖や平田船川の水位上昇により支川の逆流が生じると水門を閉めます。水門を閉めると、閉め切られた支川の水位が上昇して内水氾濫が生じます。「昭和 47 年 7 月洪水と同規模の洪水」による床上浸水を防ぐため、湯谷川の排水ポンプ増設、雲洲平田船川への排水ポンプ新設を行います。</p>

【施工場所および河川工事の種類】



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図 25000 を複製したものです。(承認番号 平 28 情複、第 1286 号)」



H.W.L : 計画高水位  
B.H.W.L : 宍道湖の計画高水位